



京都 在宅医療

検索

詳細は順次、京都医報、当センターホームページでご案内いたします。

京都在宅医療塾Ⅰ～探究編～

対象：医師・看護師

【ところ】京都府医師会館3階 310会議室

第1回「在宅医療の現場で出合いがちな「せん妄」

【と き】7月28日(日)10:00～13:00

【講 師】京都府医師会 理事/医療法人同仁会(社団)京都九条病院 精神科・心療内科/医療法人同仁会(社団)介護事業部 事業部長 統括医師 西村 幸秀氏

第2回

【と き】11月24日(日)10:00～12:00

【講 師】早期緩和ケア大津秀一クリニック 院長 大津 秀一氏

第3回「栄養・摂食嚥下障害について(仮)」

【と き】2020年2月16日(日)10:00～13:00

【講 師】東京ふれあい医療生活協同組合 副理事長 梶原診療所 所長 オレンジほっとクリニック 地域連携型認知症疾患医療センター長 平原 佐斗司氏

京都在宅医療塾Ⅱ～実践編～

対象：医師

※全回共通【ところ】京都府医師会館5階 京都府医療トレーニングセンター 【講 師】第3回以降調整中

【知っておきたい！褥瘡の治療とケア】

【と き】第2回 9月25日(水)14:30～16:30

【講 師】小川皮フ科医院 院長 小川 純己氏

【知っておきたい！在宅での輸液スキル】

【と き】第3回 10月17日(木)18:00～20:00

【と き】第4回 11月20日(水)14:30～16:30

【知っておきたい！在宅医療での薬剤師との連携】

【と き】第5回 2020年2月19日(水)14:30～16:30

総合診療力向上講座

対象：医師

※全回共通【時 間】14:30～16:30

【ところ】本会場：京都府医師会館3階 310会議室

※北部・南部会場はテレビ会議システムを利用した中継会場となります。

第1回「めくらまし(Red Herring)を乗り越えていこう！」

【と き】7月20日(土)

【ところ】北部会場：ホテルマーレたかた(舞鶴市)

南部会場：京田辺市商工会館 CIKビル

【講 師】洛和会音羽病院 総合内科・リウマチ部門 部長 谷口 洋貴氏

第2回「PPCCM(患者中心の医療)とSDH(健康の社会的決定要因)徹底ガイド」

【と き】8月31日(土)

【ところ】北部会場：ホテルマーレたかた(舞鶴市)

南部会場：けいはんなプラザ(相楽郡)

【講 師】天理よろづ相談所病院「憩の家」 総合診療教育部 医員 感染症管理センター 医員 佐田 竜一氏

第3回「一般内科でもできる「めまい」の身体診察」

【と き】9月21日(土)

【ところ】北部会場：サンプラザ万助(福知山市)

南部会場：京田辺市商工会館 CIKビル

【講 師】洛和会丸太町病院 救急・総合診療科 部長 上田 剛士氏

第4回「高齢者における身体所見のエッセンス」

【と き】10月19日(土)

【ところ】北部会場：サンプラザ万助(福知山市)

南部会場：京田辺市商工会館 CIKビル

【講 師】市立福知山市民病院 研究研修センター長兼総合内科医長 川島 篤志氏

生活機能向上研修

対象：医師・多職種

※講師は現在調整中です

食支援 Part

【と き】2020年1月11日(土)14:30～16:30

【ところ】京都府医師会館3階 310会議室

排泄支援 Part

【と き】2020年2月8日(土)14:30～17:30

【ところ】京都府医師会館2階 211、212、213会議室

認知症対応力向上多職種協働研修 (アドバンス研修)

対象：医師・多職種

綴喜

【と き】9月28日(土)14:00～17:00

【ところ】Spa & Hote 水春 松井山手(京田辺市)

下京西部

【と き】11月9日(土) ※時間：調整中

【ところ】京都府医師会館3階 310会議室

綾部・福知山

【と き】11月30日(土)14:00～17:00

【ところ】ホテルロイヤルヒル福知山

かかりつけ医認知症対応力向上研修 (集合研修)

対象：医師・多職種

北部会場

【と き】11月16日(土)14:00～17:30

【ところ】西駅交流センター(舞鶴市)

南部会場①

【と き】10月5日(土)14:00～17:30

【ところ】京都府医会館3階 310会議室

南部会場②

【と き】2020年1月25日(土)14:00～17:30

【ところ】京都府医会館3階 310会議室

南部会場①②は  
同じ研修内容です

認知症サポート医フォローアップ研修

対象：医師

北部会場

【と き】10月26日(土)14:00～17:00

【ところ】サンプラザ万助(福知山)

南部会場

【と き】2020年3月28日(土)16:30～19:30

【ところ】京都府医会館3階 310会議室

在宅医療に関する質問があればお問い合わせください。サポートセンターと保険医療課で連携し回答いたします。

お問い合わせ、ご意見及びご感想は

京都府医師会在宅医療・地域包括ケアサポートセンター

〒604-8585 京都府京都市中京区西ノ京東桐尾町6番地 京都府医師会館3階  
tel.075-354-6079 fax.075-354-6097

京都府医師会

在宅医療・地域包括ケア  
サポートセンター news

Vol.30

2019年7月15日

京都府医師会在宅医療・地域包括ケアサポートセンター  
〒604-8585 京都府京都市中京区西ノ京東桐尾町6番地 京都府医師会館3階 tel.075-354-6079 fax.075-354-6097

在宅医療・地域包括ケアサポートセンター news は奇数月15日の発行です。  
※当センターホームページにてバックナンバーがお読みいただけます。

Main menu

- ◆ 令和元年度 第1回京都在宅医療戦略会議 開催報告(P2) ◆ 令和元年度 ご家族向け介護セミナー開催のお知らせ(P2)
- ◆ 令和元年度 第1回認知症サポート医連絡会 開催報告(P3)
- ◆ 令和元年度 府民公開講座「四万十〜いのちの仕舞い」北部上映会 開催報告(P3) ◆ <在宅医療あれこれ...>(P3)
- ◆ 令和元年度 研修会予定のご案内(P4)

京都府医師会 在宅医療・地域包括ケアサポートセンター

ご紹介

6月16日(日)に行われた第202回京都府医師会定時代議員会にて2期目の松井執行部が発足したことに伴い、地域医療部統括の禹 満理事と地域ケア委員会担当(在宅医療・地域包括ケア対策副担当)の田村 耕一理事が就任されました。



前列左より 西村理事 田村理事 角水理事 禹理事 松井会長 北川副会長 小柳津理事 山下理事  
後列 在宅医療・地域包括ケアサポートセンター職員

本サポートセンターでは、在宅医療・地域包括ケア推進のために、①情報提供(このニュースやホームページ)、②相談事業(府民向け相談窓口など)、③研修事業(各種医療塾や講座・研修)、④啓発事業(府民向け公開講座など)、

⑤在宅医療推進事業(在宅医療戦略会議など)などの事業を行っています。これからもチーム員一丸となってサポートしていきます。

現場の声を是非お聞かせください。



## 令和元年度 第1回 京都在宅医療戦略会議 開催報告

6月29日(土)に京都府医師会館にて、第1回京都在宅医療戦略会議を開催し、地区医師会より24地区33名の担当理事と京都府、京都市、関係団体代表者等の計75名にご参加いただきました。

北川府医副会長の開会挨拶の後、(公社)京都府介護支援専門員会・会長 井上 基 氏より「(公社)京都府介護支援専門員会における在宅医療との連携について」として、在宅医療と介護の連携において重要な役割を担う介護支援専門員に求められる役割と課題、京都府介護支援専門員会の活動も含めご発表いただきました。

引き続き、(一社)京都府介護福祉士会 松尾 千佳子 氏より、「在宅療養における医師との連携」について発表いただきました。同氏は、平成26年に京都府看護協会主催の研修会で喀痰吸引1号資格を取得され、訪問介護職として多くの医療的ケアが必要な方の療養を支えてきた経験をもとに、医師を含めた多職種連携について紹介いただくとともに、介護職から見た連携の



課題についてご提示いただきました。

その他、令和元年度、地区医師会在宅医療推進事業について各地区医師会より発表いただいたのち、西村理事より、「身寄りがいない人の入院及び医療に係る意思決定が困難な人への支援に関するガイドライン」について説明されました。(概要は京都医報2019年7月15日号「地域医療部通信」参照)

詳細は、次号でお知らせいたします。

## 令和元年度 ご家族向け介護セミナー 開催のお知らせ

本セミナーは、例年、京都市からの委託事業として、京都府歯科医師会、京都府看護協会、京都府歯科衛生士会と共催で開催し、京都府薬剤師会、京都府栄養士会、京都府理学療法士会のご協力を得て、在宅で介護を実施しているご家族または今後在宅

での介護が必要となるご家族を対象に年に10回、下記日程にて様々なテーマで専門家による講義や実技・体験を交えた講習会を開催しています。各回15名～20名の参加があり、受講者からは「実技で参考になることを多く学ぶことができました」、

「先生方にご丁寧にご指導いただき、自分が体験しないと分からない経験ができました」などのお声をいただいております。

患者さん等で参加をご希望される方がいらっしゃいましたら、是非ご案内ください。参加対象は京都市民です。申し込みお問い合わせは(075) 354-6079までお願いいたします。



令和元年度家族介護者向け医療的ケア・口腔ケア実践講習会(時間はいずれも午後1時30分～3時30分)

回	月日	テーマ	講義内容
第1回	6月25日(火)	誤えん性肺炎予防	誤えん性肺炎を予防する口腔ケアの方法 いろいろなブラシを使った口腔ケアの相互実習
第2回	7月10日(水)	床ずれ予防	床ずれ予防の方法やポイント 床ずれ予防のための体験学習
第3回	7月23日(火)	食事の工夫	糖尿病の食事の注意点と簡単メニュー紹介 歯周病に効果的な口腔ケアの相互実習
第4回	8月 7日(水)	腰痛予防	腰痛を予防するための知識と介護実習 (介護者が腰痛を予防するための工夫)
第5回	8月28日(水)	爪・皮膚のケア	足を守るための正しい爪の切り方や皮膚のケア 爪の切り方、皮膚の清潔や保護の実習
第6回	9月 5日(木)	とろみ剤とオブラート、服薬補助ゼリーの使い方	とろみ剤の使い方や、お薬を飲みやすくするオブラートや服薬ゼリーの使い方について、実践を交えてわかりやすくお話しします
第7回	9月19日(木)	たん吸引	在宅でのたん吸引の方法 人形や吸引器を用いたたん吸引の実習
第8回	10月 2日(水)	お口の健口	口腔ケアと全身の健康予防の関連性について 人形や吸引ブラシを用いた口腔ケアの実習
第9回	10月23日(水)	認知症の人の心理と対応	心と行動の変化について考え、対応策を探る
第10回	11月13日(水)	排泄ケア	在宅で活かせる排泄ケアの知識 福祉用具の活用方法(個別相談も対応)

## 令和元年度 第1回 認知症サポート医連絡会 開催報告



財団医療法人中村病院  
副院長  
永田 美和子氏

5月11日(土)、京都府医師会館にて第1回認知症サポート医連絡会を開催。認知症サポート医70名、地区医師会3名、京都市、京都府の事務局担当者が参加されました。

連絡会では「認知症サポート医と地域連携の進め方～福井県認知症サポート医活動報告制度の紹介～」と題し、財団医療法人中村病院 副院長 永田 美和子氏より、福井県独自

の認知症サポート医活動報告制度についてご講演をいただき、認知症サポート医の活動促進について議論が交わされました。

その後、認知症本人・家族教室テキストの作成についての報告や令和元年度認知症サポート医養成研修受講者の推薦について協議され、今年度に向けて準備が進められました。



## 令和元年度 府民公開講座「四万十～いのちの仕舞い」北部上映会 開催報告

6月8日(土)、北部府民向け上映会「四万十～いのちの仕舞い」をハピネス福知山で開催し、約60名の方にお越しいただきました。開演のご挨拶は福知山医師会在宅医療担当理事であり、福知山市夜久野で内科医として外来診療と在宅医療に取り組まれておられる西垣哲哉先生にいただきました。

### ●参加者の声● (参加者アンケートより抜粋)

- 無理に生かすのではなく流れて死を待つという事が大変良いと思いました。(70代 男性)
- 人の生活に寄り添い、相談を受ける立場の仕事ですが、こうして、本当に在宅での生活に寄り添ってくださる先生の姿を拝見し、感動しました。ありがとうございました。(30代 女性)

「恵子さん、あの山の上、何ができるん?。」

「先生、老人ホームらしいですよ。」

「へー、そんなもんつくって、入る人あるん?。」

そんなことを言いながら、往診をして、25年になる。

介護保険はあつという間に全国津々浦々に拡がり、その老人ホームはあれよあれよという間にいっぱいになった。

何かピンとこなかったリハビリテーションもリハとなって、骨折 脳卒中を飛び出して認知症から高次脳、果ては地域までもカバーするようになった。

過疎地には関係ないと思っていた在宅リハが、今では山里にも広がっている。

綾子さんは昔ながらの瓦屋根に一人暮らし、腰は曲がっていて、膝は変形している。年は90を超えて、前回は恥骨骨折、入院せずに自宅で段差解消して養生された。今回は近所の大工さんが村の用事でのぞいたら立てなくて、いざっている。

今から連れて行くのでレントゲンを撮ってほしい。ということで大工さんと近所の男の人2人、計3人がかりでまさに戸板

でバンの後部に乗せられ来院、そのままレントゲン室に入り、左大腿骨骨折で救急搬送になった。

救急車で運ばれるときに、「元気になるって、また家でくらしたい。」と訊くと「そうやねえ」

という返事があった。それから2か月たつて季節が変わりかけたある晩に、綾子さんから「せんせい、今日退院してきました。」と電話があった。翌日訪問診療をしていると理学療法士の康平さんからラインで綾子さんの写メが来た。退院して半年間、週2回の在宅リハに来てもらえる。康平さんは見たことのないようなリハをしてくれる。和太鼓が好きだったレビーの患者さんは太鼓をたたいたし、かつての有段者は掘りこたつに座ったまま日本刀を振った、片麻痺のおばあさまは、得意のお好み焼きを焼いた。リハ卒にあたって何かしてくれる。私は綾子さんのリハ卒をたのしみをしている。そのあとに待っている生活期のリハビリというのも何とか乗り切りたい。

写真は左から運んだ人、診た人、運ばれた人、リハの人です。

## 在宅医療あれこれ

— vol.8 —

### 在宅リハ



西垣 哲哉 氏  
福知山医師会  
在宅医療担当理事